

経営学部 会計ガバナンス学科

2020年度入学生カリキュラム

<カリキュラム情報>

- ◆ **カリキュラム・ポリシー** p.2
教育課程(カリキュラム)の編成方針。学科のカリキュラムは、学科の教育目標であるディプロマ・ポリシー(学位授与方針)に沿って編成されています。学科のカリキュラム・ポリシーを見ることで、卒業までの学びの展望を持つことができます。
- ◆ **カリキュラム・マップ^o [武蔵野 BASIS・学科科目]** p.3
科目の分野やレベルに沿って、学科のカリキュラムの全体像を示した学びのマップ。
- ◆ **卒業所要単位数** p.5
必修科目や卒業に必要な科目区分ごとの単位数を一覧にした表。未修得の必修科目がある場合や、卒業に必要な単位数が不足する場合、卒業要件を満たすことができないため注意してください。進級基準科目(進級するために単位の修得が必要な科目)についてもあわせて確認してください。
※総合GPAなど、卒業要件の全体は「学修の手引き」を確認してください。
- ◆ **開講表 [武蔵野 BASIS]** p.6
武蔵野BASIS(全学共通基礎課程)科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **開講表 [学科科目]** p.9
学科科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **履修モデル** p.11
学びの関心や将来の進路目標に沿った科目の履修例。履修計画を立てる際に、科目選択の参考としてください。
※履修モデル自体は卒業所要単位数を満たすことを保証するものではないため、卒業所要単位数と開講表を必ず確認し
たうえで履修計画を立ててください。
- ◆ **成果に基づき単位認定される科目** p.16
「留学の認定科目」「資格試験の合格による認定科目」「ボランティア活動による認定科目」の一覧。

付録：卒業所要単位表・開講表の見方

開講表の科目情報(科目名、履修条件、休講科目等)など、カリキュラム情報は科目が開講される年度により変更となる場合があります。毎年度、履修要覧に掲載される最新の情報を確認してください。

会計ガバナンス学科 カリキュラム・ポリシー

会計ガバナンス学科では、<基礎科目群><基幹科目群><展開科目群>の順に段階的に編成しています。理論とともに実践教育を重視し、ゼミナール、学科独自のインターンシップのみならず通常の講義においても、有明キャンパスの立地を活用して、東京国際展示場や周辺企業、会計事務所、税理士事務所等への訪問・見学を通じてアクティブな知を体得します。また、少人数教育に力を入れ2年次より卒業までのゼミナールを必修で履修することで、教員と近い距離で長期間の指導を受けることにより、実践的スキルに加え言葉では伝えることの難しいカンやコツ、社会現象に対する考え方などを培います。また、会計専門職、経理職、金融機関等といった将来の進路を見据えた履修モデルを提供し、目的を明確にした体系的な学修を実現します。

知識・専門性 : 学びの基礎力を基盤とした専門能力

自ら教養・基礎学力を修得し、自律的・主体的に学ぶことができる【教養・基礎学力】

会計学・ガバナンス論等の分野における基礎学力を習得している【基礎学力】

会計学・ガバナンス論等の分野における専門知識を体系的に習得し、現実の経営事象を理解分析できる【専門能力】

本格的な専門教育を受ける前に、全学共通の教養教育プログラムである「武蔵野BASIS」を履修します。「武蔵野BASIS」では、大学での学修に必要な基盤的な技法と知識の修得を目的として、「建学」、「健康体育」、「コンピュータ」、「日本語リテラシー」および「外国語」を学びます。また、同プログラムの「基礎セルフディベロップメント」において、「思想・芸術」、「国際・地域」、「社会・制度」、「人間・環境」、「物質・生命」、「数理・情報」の6分野を学ぶことにより、広い視野を備えたすぐれた人格の形成を目指します。

会計ガバナンス学科では、<基礎科目群>で会計分野の基礎学力をつけることを目的とし、『会計学入門』『簿記1、2』を必修で修得します。

<基幹科目群>は<基礎科目群>で身につけた基礎学力を発展させることを目的とし、『簿記3、4』『工業簿記1、2』『財務会計1、2』『企業と社会』『コーポレート・ガバナンス論1』を学びます。

<展開科目群>は、『アドバンス簿記1、2』『財務会計3、4』『連結会計』『監査論』『会計データ分析1、2』等の学習を通じ、<基幹科目群>で身につけた専門学力を発展させ、高度な会計の専門知識を体系的に修得します。

<課題研究科目群>は最重要の科目群であり、2年次の『プレゼミ1、2』、3、4年次の『ゼミナール1、2、3、4』を必修科目とし、卒業論文につなげていきます。「課題研究」は「基礎科目群」「基幹科目群」「展開科目群」で学んだ、あるいは学んでいる内容を応用していくことを目的としています。少人数の学生に対し、長期にわたり指導を施すことで、専門知識の習得のみならず、社会課題を自ら発見し、必要な状況を論理的に分析し、それぞれの専門の立場から自ら解決策を提示する能力を習得していきます。

さらに、刻一刻と変化する会計をめぐる社会環境に適応し、必要な知識を補完する<応用科目群>を履修することで、その時々々の社会状況の要請に応じた専門能力を身に着けます。

他に、職業会計人を輩出するための専門コース「育成プログラム」があり、1年次から開講されます。

関心・態度・人格 : 他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

取り組むべき社会的課題を自ら発見し、状況の改善や危機管理に生かすことができる【課題発見力】

自らの判断で、社会において責任ある意思決定ができる【主体性・実行力】

職業人として恥ずかしくない人格、倫理、使命感を有している【人格形成・使命感】

企業の社会的責任の重視により、高い倫理観と共生の視点を持ち、会計言語を駆使して問題発見・課題解決ができる人材が必要とされています。3年4学期に履修する『企業倫理』は、実社会で働く直前に、倫理観を高め、倫理的な知識を習得することができます。

1年次に行われる長期学外学修プログラム「フィールド・スタディーズ」では、社会のパラダイム・シフトに対応する3つの人材、①自発自燃型人材、②グローバル人材、③地域貢献型人材の育成に必要なかつ想定外の状況にも対応できる主体性や問題発見・解決能力などの汎用的能力を修得します。

思考・判断 : 課題を多角的に捉え、創造的に考える力

必要な情報を自ら収集し、論理的に分析することができる【情報分析・論理的思考】

経営上の課題に対して自ら状況を分析し、解決策を提示することができる【課題解決力】

2年次より開始されるゼミナールでは、学生間・教員とのディスカッションを通して、多様な考え方があること、その多様性を考慮して自分の意見を作ることの重要性を学び、4年次の卒業論文執筆につなげていきます。また、いくつかの講義でも、ディスカッションを意識した内容となり、多様な観点を養っていきます。さらに、有明キャンパスの立地を活用して、東京国際展示場や周辺企業、日本銀行や東京証券取引所等への訪問・見学を通じてアクティブな知の体得を目指します。

実践的スキル・表現 : 多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

自らの思考を、必要に応じ文章、図表、情報機器などを用いて的確に表現できる【表現力】

組織において他者の意思を尊重しながら、全体をまとめ、リーダーシップを発揮できる【傾聴力・リーダーシップ力】

表現力、傾聴力、リーダーシップ、チームワークは、企業や社会では不可欠の能力です。2年次より卒業まで、ゼミナール形式の講義が必修科目となっている会計ガバナンス学科では、専門知識の修得に加えて、これらの能力を修得します。

1年

2年

3・4年

セルフディベロップメント	
☆ SD 101 基礎セルフディベロップメント	LAS 101 全学教養ゼミナール1 LAS 102 全学教養ゼミナール2
日本語リテラシー ☆ JL 101 日本語リテラシー	
外国語 応用 AL 101/102 英語資格・検定試験対策A/B AL 301/302 English for Studying Abroad 1/2	

- ☆ 必修(進級基準科目)
- ★ 必修科目
- 必修科目
- 選択必修科目
- 選択科目

*各科目の履修条件は開講表を参照

情報	
☆ SIC 101 データ・情報リテラシー SIC 103 情報分析・創出・表現技法	★ SIC 102 メディア・人工知能リテラシー SIC 104 プログラミングリテラシー SIC 105 メディアリテラシー
SIC 201 情報技法発展 A	SIC 204 プログラミング発展 A

外国語									
☆ ENG 101 英語 1 A	☆ ENG 102 英語 1 B	☆ ENG 103 英語 1 C	☆ ENG 104 英語 1 D	ENG 201 英語 2 A	ENG 202 英語 2 B	ENG 203 英語 2 C	ENG 204 英語 2 D	ENG 301 英語 3 A	ENG 302 英語 3 B
CHN 101 中国語 1 A	CHN 102 中国語 1 B			CHN 201 中国語 2 A	CHN 202 中国語 2 B			CHN 301 中国語 3 A	CHN 302 中国語 3 B
FRA 101 フランス語 1 A	FRA 102 フランス語 1 B			FRA 201 フランス語 2 A	FRA 202 フランス語 2 B			FRA 301 フランス語 3 A	FRA 302 フランス語 3 B
GER 101 ドイツ語 1 A	GER 102 ドイツ語 1 B			GER 201 ドイツ語 2 A	GER 202 ドイツ語 2 B			GER 301 ドイツ語 3 A	GER 302 ドイツ語 3 B
SPA 101 スペイン語 1 A	SPA 102 スペイン語 1 B			SPA 201 スペイン語 2 A	SPA 202 スペイン語 2 B			SPA 301 スペイン語 3 A	SPA 302 スペイン語 3 B
KOR 101 韓国語 1 A	KOR 102 韓国語 1 B			KOR 201 韓国語 2 A	KOR 202 韓国語 2 B			KOR 301 韓国語 3 A	KOR 302 韓国語 3 B

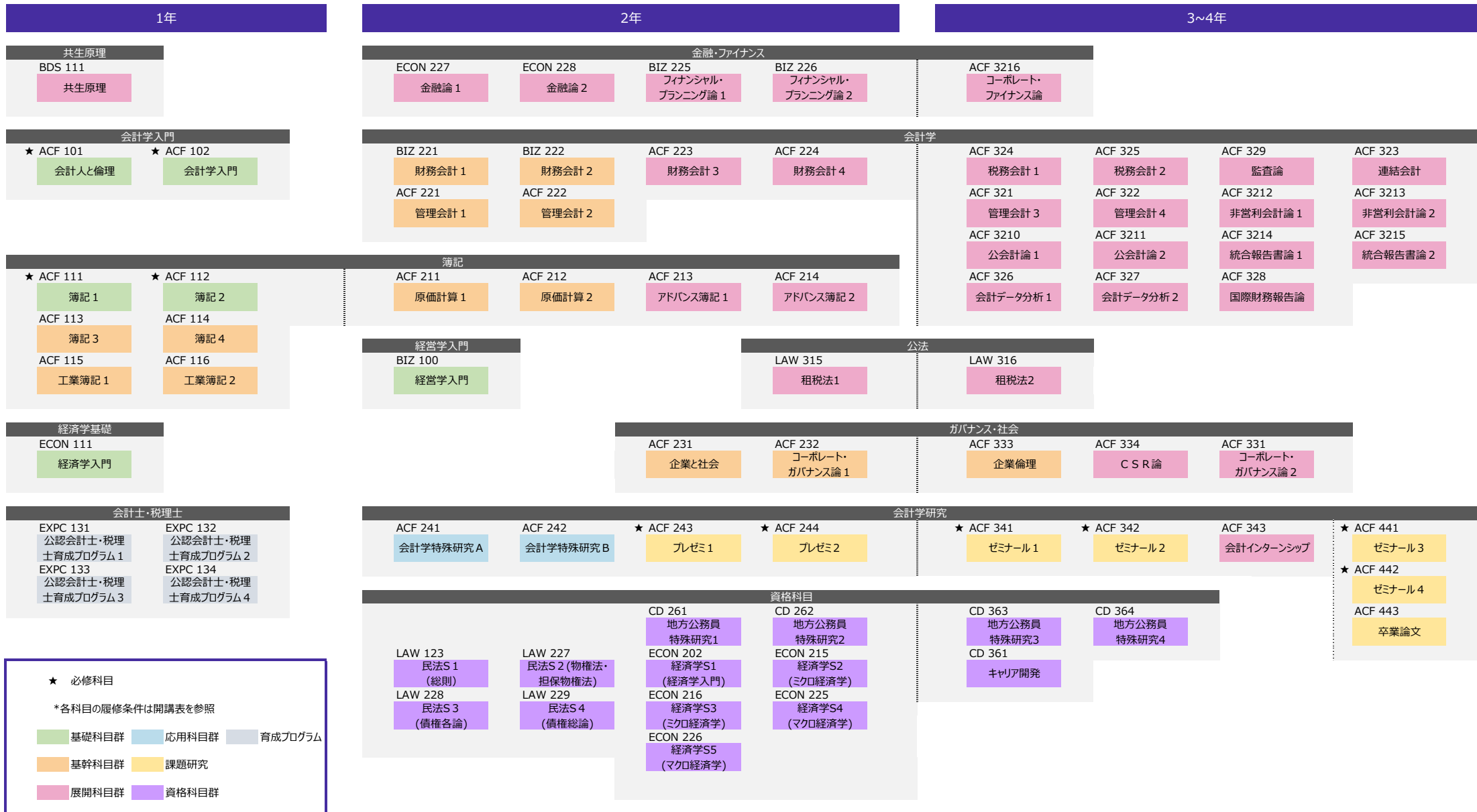
建学
★ BDS 101 仏教概説

健康体育
HPE 101 スポーツと身体科学
HPE 201 フィールド・スポーツ

インターンシップ	
INT 201 インターンシップ(事前研究)	INT 211/212 インターンシップ1/2

フィールド・ワーク・スタディーズ					
★ FW 101 フィールド・スタディーズ	FW 111/112/113/114 フィールド・スタディーズ 1/2/3/4	AFS 101/102/103/104 フィールド・スタディーズ発展 1A/1B/1C/1D	AFS 201/202/203/204/205 フィールド・スタディーズ発展 2A/2B/2C/2D/2E	AFS 301/302/303/304/305 フィールド・スタディーズ発展 3A/3B/3C/3D/3E	AFS 401/402/403/404 フィールド・スタディーズ発展 4A/4B/4C/4D

寄付講座	
EC 101 寄付講座1	EC 202 証券ビジネス論



経営学部 会計ガバナンス学科 -2020年度入学生-

卒業所要単位数

2022年度版

☆進級基準科目

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野BASIS (22)	必修 (18)	【建学科目】 仏教概説 [4単位]	4
		【情報科目】 データ・情報リテラシー [1単位] ☆ メディア・人工知能リテラシー [1単位]	2
		【外国語】 英語1A～1D [計4単位] ☆	4
		【日本語リテラシー】 日本語リテラシー [1単位] ☆	1
		【基礎セルフディベロップメント】 基礎セルフディベロップメント [6単位] ☆	6
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】 フィールド・スタディーズ [1単位]	1	
	選択必修 (4)	【発展セルフディベロップメント】 科目群から2科目 [計4単位]選択	4
学科科目 (72)	必修 (20)	【基礎科目群】 会計人と倫理 [2単位] 簿記1 [2単位] 簿記2 [2単位] 会計学入門 [2単位] 【課題研究】 プレゼミ1～2 [計4単位] ゼミナール1～4 [計8単位]	20
	選 択 (52)	学科科目から52単位を選択	52
自由選択科目 (30)		以下の科目から30単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS（所要22単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要72単位を超えて修得した単位） ③他学部・他学科履修許可科目 ④日本語科目（留学生又は日本語を母語としない学生のみ履修可） ⑤日本事情に関する科目 ⑥成果に基づき単位認定される科目	30
合 計			124

※ BASIS進級基準科目（☆） 武蔵野BASISの進級基準科目を未修得の場合、進級要件に抵触し、次の学年に進級することができません。

※ 開講科目の名称は課程年度により変更となる場合があります。科目の名称変更と対応関係については開講表を確認してください。

※ 履修計画を立てる際には、必ず「[学修の手引き](#)」の「[履修計画](#)」や「[履修登録](#)」を確認してください。

科目番号	科目名	対応科目名 (2022年度科目名)*1	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
				必修	選択		
【建学科目】							
BDS 101	仏教概説	「仏教（生き方を考える）基礎」と「仏教概説[再履修クラス]」を同一年度に履修すること	1年	4			
BDS 111	共生社会		1年		2		2022年度休講
BDS 201	しあわせを考える		2年		2		2022年度休講
【健康体育科目】							
HPE 101	スポーツと身体科学		1年		1		
HPE 201	フィールド・スポーツ		2年		1		
HPE 211	オリンピック・パラリンピック文化論		2年		2		2022年度休講
【情報科目】							
SIC 101	データ・情報リテラシー	データサイエンス基礎	1年	1			進級基準科目
SIC 102	メディア・人工知能リテラシー	人工知能基礎	1年	1			
SIC 103	情報分析・創出・表現技法	情報技法基礎	1年		1		
SIC 104	プログラミングリテラシー	プログラミング基礎	1年		1		
SIC 105	メディアリテラシー		1年		1		
SIC 201	情報技法発展A		2年		1	◆「情報分析・創出・表現技法」を修得していること	
SIC 204	プログラミング発展A		2年		1	◆「プログラミングリテラシー」を修得していること	
【外国語】							
ENG 101	英語1A	英語基礎A	1年	1			進級基準科目
ENG 102	英語1B	英語基礎B	1年	1			進級基準科目
ENG 103	英語1C	英語基礎C	1年	1			進級基準科目
ENG 104	英語1D	英語基礎D	1年	1			進級基準科目
ENG 201	英語2A	英語発展A	2年		1		
ENG 202	英語2B	英語発展B	2年		1		
ENG 203	英語2C	英語発展C	2年		1		
ENG 204	英語2D	英語発展D	2年		1		
ENG 301	英語3A		3年		1		
ENG 302	英語3B		3年		1		
CHN 101	中国語1A	中国語基礎1	1年	1		◆「中国語1A」「中国語1B」をセットで履修すること	*2
CHN 102	中国語1B	中国語基礎2	1年	1			
CHN 103	中国語1C		1年		1		2022年度休講
CHN 104	中国語1D		1年		1		2022年度休講
CHN 201	中国語2A	中国語発展1	2年		1		
CHN 202	中国語2B	中国語発展2	2年		1	◆「中国語2A」を履修していること	
CHN 203	中国語2C		2年		1		2022年度休講
CHN 204	中国語2D		2年		1		2022年度休講
CHN 301	中国語3A		3年		1		
CHN 302	中国語3B		3年		1		
FRA 101	フランス語1A	フランス語基礎1	1年	1		◆「フランス語1A」「フランス語1B」をセットで履修すること	*2
FRA 102	フランス語1B	フランス語基礎2	1年	1			
FRA 103	フランス語1C		1年		1		2022年度休講
FRA 104	フランス語1D		1年		1		2022年度休講
FRA 201	フランス語2A	フランス語発展1	2年		1		
FRA 202	フランス語2B	フランス語発展2	2年		1	◆「フランス語2A」を履修していること	
FRA 203	フランス語2C		2年		1		2022年度休講
FRA 204	フランス語2D		2年		1		2022年度休講
FRA 301	フランス語3A		3年		1		
FRA 302	フランス語3B		3年		1		
GER 101	ドイツ語1A	ドイツ語基礎1	1年	1		◆「ドイツ語1A」「ドイツ語1B」をセットで履修すること	*2
GER 102	ドイツ語1B	ドイツ語基礎2	1年	1			
GER 103	ドイツ語1C		1年		1		2022年度休講
GER 104	ドイツ語1D		1年		1		2022年度休講

科目番号	科目名	対応科目名 (2022年度科目名)*1	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
				必修	選択		
GER 201	ドイツ語 2 A	ドイツ語発展 1	2年		1		
GER 202	ドイツ語 2 B	ドイツ語発展 2	2年		1	◆「ドイツ語 2 A」を履修していること	
GER 203	ドイツ語 2 C		2年		1		2022年度休講
GER 204	ドイツ語 2 D		2年		1		2022年度休講
GER 301	ドイツ語 3 A		3年		1		
GER 302	ドイツ語 3 B		3年		1		
SPA 101	スペイン語 1 A	スペイン語基礎 1	1年		1	◆「スペイン語 1 A」「スペイン語 1 B」をセットで履修すること	*2
SPA 102	スペイン語 1 B	スペイン語基礎 2	1年		1		
SPA 103	スペイン語 1 C		1年		1		2022年度休講
SPA 104	スペイン語 1 D		1年		1		2022年度休講
SPA 201	スペイン語 2 A	スペイン語発展 1	2年		1		
SPA 202	スペイン語 2 B	スペイン語発展 2	2年		1	◆「スペイン語 2 A」を履修していること	
SPA 203	スペイン語 2 C		2年		1		2022年度休講
SPA 204	スペイン語 2 D		2年		1		2022年度休講
SPA 301	スペイン語 3 A		3年		1		
SPA 302	スペイン語 3 B		3年		1		
KOR 101	韓国語 1 A	韓国語基礎 1	1年		1	◆「韓国語 1 A」「韓国語 1 B」をセットで履修すること	*2
KOR 102	韓国語 1 B	韓国語基礎 2	1年		1		
KOR 103	韓国語 1 C		1年		1		2022年度休講
KOR 104	韓国語 1 D		1年		1		2022年度休講
KOR 201	韓国語 2 A	韓国語発展 1	2年		1		
KOR 202	韓国語 2 B	韓国語発展 2	2年		1	◆「韓国語 2 A」を履修していること	
KOR 203	韓国語 2 C		2年		1		2022年度休講
KOR 204	韓国語 2 D		2年		1		2022年度休講
KOR 301	韓国語 3 A		3年		1		
KOR 302	韓国語 3 B		3年		1		
【外国語 応用】							
AL 301	English for Studying Abroad 1	留学準備 1	1・2年		1	◆「English for Studying Abroad 1」「English for Studying Abroad 2」をセットで履修すること	
AL 302	English for Studying Abroad 2	留学準備 2	1・2年		1	◆履修条件をシラバスで確認すること	
AL 311	International Lectures 1		1・2・3・4年		1		2022年度休講
AL 312	International Lectures 2		1・2・3・4年		1		2022年度休講
AL 101	英語資格・検定試験対策A	英語資格 ・検定試験対策 1	1年		1	◇TOEIC550点程度の英語力があること	
AL 102	英語資格・検定試験対策B	英語資格 ・検定試験対策 2	1年		1	◇TOEIC400点程度の英語力があること	
【日本語リテラシー】							
JL 101	日本語リテラシー		1年	1			進級基準科目
【セルフディベロップメント科目】							
<基礎セルフディベロップメント>							
SD 101	基礎セルフディベロップメント		1年	6			進級基準科目
<発展セルフディベロップメント>							
SD 201	芸術のすすめ		2年		2		4 単位選択必修
SD 202	数学的ものの考え方		2年		2		
SD 203	社会現象を分析する		2年		2		
SD 204	環境学への展望		2年		2		
SD 205	人間の心理を探る		2年		2		
SD 206	生命科学と人間		2年		2		
SD 207	市民の社会貢献		2年		2		
SD 208	市民生活と権利を考える		2年		2		
SD 209	現代メディアの探求		2年		2		
SD 210	社会情報と生活		2年		2		
SD 211	日本の歴史		2年		2		
SD 212	外国の歴史		2年		2		
SD 213	哲学への探求		2年		2		
SD 214	文化人類学への誘い		2年		2		
SD 215	文学を読み解く楽しみ		2年		2		

科目番号	科目名	対応科目名 (2022年度科目名)*1	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
				必修	選択		
LAS 101	全学教養ゼミナール1		1年		2		
LAS 102	全学教養ゼミナール2		1年		2		
SD 221	ホスピタリティマインド概論		1年		2		選択必修対象外
SD 222	ホスピタリティマインド各論		2年		2		2022年度休講
【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】							
FW 101	フィールド・スタディーズ		1年	1			
FW 111	フィールド・スタディーズ1		1年		1		学外学修の活動日数に応じて、単位修得できる科目が決定します 履修登録は不要です
FW 112	フィールド・スタディーズ2		1年		2		
FW 113	フィールド・スタディーズ3		1年		3		
FW 114	フィールド・スタディーズ4		1年		4		
FW 121	海外フィールド・スタディーズ1		1年		2		
FW 122	海外フィールド・スタディーズ2		1年		3		2022年度休講
FW 123	海外フィールド・スタディーズ3		1年		4		2022年度休講
FW 124	海外フィールド・スタディーズ4		1年		5		2022年度休講
FW 125	海外フィールド・スタディーズ5		1年		6		2022年度休講
AFS 101	フィールド・スタディーズ発展1 A		1年		1		詳細はガイダンスで確認すること 履修登録は不要です
AFS 102	フィールド・スタディーズ発展1 B		1年		2		
AFS 103	フィールド・スタディーズ発展1 C		1年		3		
AFS 104	フィールド・スタディーズ発展1 D		1年		4		
AFS 201	フィールド・スタディーズ発展2 A		2年		1		
AFS 202	フィールド・スタディーズ発展2 B		2年		2		
AFS 203	フィールド・スタディーズ発展2 C		2年		3		
AFS 204	フィールド・スタディーズ発展2 D		2年		4		
AFS 205	フィールド・スタディーズ発展2 E		2年		5		
AFS 301	フィールド・スタディーズ発展3 A		3年		1		
AFS 302	フィールド・スタディーズ発展3 B		3年		2		
AFS 303	フィールド・スタディーズ発展3 C		3年		3		
AFS 304	フィールド・スタディーズ発展3 D		3年		4		
AFS 305	フィールド・スタディーズ発展3 E		3年		5		
AFS 401	フィールド・スタディーズ発展4 A		4年		1		
AFS 402	フィールド・スタディーズ発展4 B		4年		2		
AFS 403	フィールド・スタディーズ発展4 C		4年		3		
AFS 404	フィールド・スタディーズ発展4 D		4年		4		
【インターンシップ科目】							
INT 201	インターンシップ（事前研究）		2年		1	◆シラバスや初回授業に実施するガイダンスで確認すること	
INT 211	インターンシップ1		2年		1		
INT 212	インターンシップ2		2年		2		
INT 213	インターンシップ3		2年		4		2022年度休講
INT 214	インターンシップ4		2年		6		2022年度休講
INT 221	海外インターンシップ1		2年		4		2022年度休講
INT 222	海外インターンシップ2		2年		6		2022年度休講
INT 223	海外インターンシップ3		2年		8		2022年度休講
【副専攻（サブ・メジャー）科目群】							
SUBM 201	サブ・メジャー（ゼミナール）1		2年		2		2022年度休講
SUBM 202	サブ・メジャー（ゼミナール）2		2年		4		2022年度休講
SUBM 311	サブ・メジャー（総合研究）1		3年		2		2022年度休講
SUBM 312	サブ・メジャー（総合研究）2		3年		4		2022年度休講
【寄付講座科目】							
EC 101	寄付講座1		1・2・3・4年		2		寄付講座：武蔵野市
EC 201	資金計画論		2年		2		2022年度休講
EC 202	証券ビジネス論		2年		2		寄付講座：野村證券
EC 203	経済教育論		2年		2		2022年度休講
EC 204	金融リテラシー(金融と人生設計)		2年		2		2022年度休講
EC 205	未来型都市とメディア		2年		2		2022年度休講

履修条件については、「学修の手引き」の説明を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

*1 対応する新科目を履修することにより、変更前の科目について単位認定されます。

*2 履修登録方法については、2022年度の前期履修登録期間前にMUSCAT掲示がありますので詳細をご確認ください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【基礎科目群】						
ACF 101	会計人と倫理	1年	2			
ACF 111	簿記1	1年	2			
ACF 112	簿記2	1年	2			
ACF 102	会計学入門	1年	2			
BIZ 100	経営学入門	2年		2		
ECON 111	経済学入門	1年		2		
【基幹科目群】						
ACF 113	簿記3	1年		2		
ACF 114	簿記4	1年		2	◆「簿記3」を履修していること	
ACF 115	工業簿記1	1年		2		
ACF 116	工業簿記2	1年		2	◆「工業簿記1」を履修していること	
ACF 211	原価計算1	2年		2		
ACF 212	原価計算2	2年		2		
BIZ 221	財務会計1	2年		2		
BIZ 222	財務会計2	2年		2	◆「財務会計1」を履修していること	
ACF 221	管理会計1	2年		2		
ACF 222	管理会計2	2年		2	◆「管理会計1」を履修していること	
ACF 232	コーポレート・ガバナンス論1	2年		2	◇「会計学入門」を履修していること	
ACF 231	企業と社会	2年		2		
ACF 333	企業倫理	3年		2	◆「会計学入門」を修得済(S~Cまでの成績を修得済)であること	
【展開科目群】						
BDS 111	共生原理	1年		2		
ACF 213	アドバンス簿記1	2年		2	◇「簿記4」を履修していること	
ACF 214	アドバンス簿記2	2年		2	◆「アドバンス簿記1」を履修していること	
ACF 223	財務会計3	2年		2	◇「財務会計2」を履修していること	
ACF 224	財務会計4	2年		2	◆「財務会計3」を履修していること	
ACF 323	連結会計	3年		2		
ACF 321	管理会計3	3年		2	◆「管理会計2」を履修していること	
ACF 322	管理会計4	3年		2	◆「管理会計3」を履修していること	
ACF 3216	コーポレート・ファイナンス論	3年		2		
ACF 328	国際財務報告論	3年		2		
ACF 329	監査論	3年		2		
ACF 3212	非営利会計論1	3年		2		
ACF 3213	非営利会計論2	3年		2	◆「非営利会計論1」を履修していること	
ACF 3210	公会計論1	3年		2		
ACF 3211	公会計論2	3年		2	◆「公会計論1」を履修していること	
LAW 315	租税法1	2年		2		
LAW 316	租税法2	3年		2	◆「租税法1」を履修していること	
ACF 324	税務会計1	3年		2		
ACF 325	税務会計2	3年		2	◆「税務会計1」を履修していること	
ACF 331	コーポレート・ガバナンス論2	3年		2	◆「コーポレート・ガバナンス論1」を履修していること	
ACF 334	C S R論	3年		2	◇「会計学入門」を履修していること ◇「コーポレート・ガバナンス論1」を履修していること	
ACF 3214	統合報告書論1	3年		2		
ACF 3215	統合報告書論2	3年		2	◆「統合報告書論1」を履修していること	
ACF 326	会計データ分析1	3年		2		
ACF 327	会計データ分析2	3年		2	◇「会計データ分析1」を履修していること	
AC 343	会計インターンシップ	3年		2		
ECON 227	金融論1	2年		2		
ECON 228	金融論2	2年		2	◆「金融論1」を履修していること	

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
BIZ 225	フィナンシャル・プランニング論 1	2年		2		
BIZ 226	フィナンシャル・プランニング論 2	2年		2	◆「フィナンシャル・プランニング論 1」を履修していること	
【応用科目群】						
ACF 241	会計学特殊研究 A	2・3・4年		2		
ACF 242	会計学特殊研究 B	2・3・4年		2		
【課題研究】						
ACF 243	プレゼミ 1	2年	2			
ACF 244	プレゼミ 2	2年	2			
AC 341	ゼミナール 1	3年	2			
AC 342	ゼミナール 2	3年	2			
AC 441	ゼミナール 3	4年	2			
AC 442	ゼミナール 4	4年	2			
AC 443	卒業論文	4年		4		
【資格科目群】						
CD 261	地方公務員特殊研究 1	2年		4		
CD 262	地方公務員特殊研究 2	2年		4		
CD 363	地方公務員特殊研究 3	3年		4		
CD 364	地方公務員特殊研究 4	3年		4		
LAW 123	民法 S 1 (総則)	2年		2		
LAW 227	民法 S 2 (物権法・担保物権法)	2年		2		
LAW 228	民法 S 3 (債権各論)	2年		2		
LAW 229	民法 S 4 (債権総論)	2年		2		
ECON 202	経済学 S1 (経済学入門)	2年		2		
ECON 215	経済学 S2 (ミクロ経済学)	2年		2		
ECON 216	経済学 S3 (ミクロ経済学)	2年		2	◆「経済学 S2 (ミクロ経済学)」を履修していること	
ECON 225	経済学 S4 (マクロ経済学)	2年		2		
ECON 226	経済学 S5 (マクロ経済学)	2年		2	◆「経済学 S4 (マクロ経済学)」を履修していること	
CD 361	キャリア開発	3年		2		
【育成プログラム】						
EXPC 131	公認会計士・税理士育成プログラム 1	1年		1	◆育成プログラム生のみ	
EXPC 132	公認会計士・税理士育成プログラム 2	1年		4		
EXPC 133	公認会計士・税理士育成プログラム 3	1年		4		
EXPC 134	公認会計士・税理士育成プログラム 4	1年		4		

履修条件については、「学修の手引き」の説明を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

会計ガバナンス学科 履修モデル 2020年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

ライセンス学類
(履修モデル1)

【進路イメージ】

公認会計士・税理士・国税専門官

【モデル概要】

簿記を高度に学ぶことによって、公認会計士・税理士・国税専門官といった会計に関わる専門職を目指す

★必修科目 ☆進級基準科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野BASIS (22)	必修 (18)	建学科目	★ 仏教概説 4			
		情報科目	☆ データ・情報リテラシー 1			
		外国語	★ メディア・人工知能リテラシー 1			
		日本語リテラシー	☆ 英語1A～1D 4			
		日本語リテラシー	☆ 日本語リテラシー 1			
		セルフディベロップメント科目	☆ 基礎セルフディベロップメント 6			
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ 1				
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目		発展セルフディベロップメント 4			
学科科目 (72)	必修 (20)	基礎科目群	★ 会計人と倫理 2			
			★ 簿記1 2			
			★ 簿記2 2			
			★ 会計学入門 2			
		課題研究		★ プレゼミ1 2	★ ゼミナール1 2	★ ゼミナール3 2
				★ プレゼミ2 2	★ ゼミナール2 2	★ ゼミナール4 2
	選択 (52)	簿記3 2	原価計算1 2	租税法2 2	卒業論文 4	
		簿記4 2	原価計算2 2	国際財務報告論 2		
		工業簿記1 2	財務会計1 2	連結会計 2		
		工業簿記2 2	財務会計2 2	管理会計3 2		
共生原理 2		管理会計1 2	管理会計4 2			
		管理会計2 2	監査論 2			
	アドバンス簿記1 2	税務会計1 2				
	アドバンス簿記2 2	税務会計2 2				
	財務会計3 2	統合報告書論1 2				
	財務会計4 2	統合報告書論2 2				
	租税法1 2	会計インターンシップ 2				
自由選択科目(30)			(自身の興味・関心がある科目) 4	(自身の興味・関心がある科目) 8	(自身の興味・関心がある科目) 4	
備考		卒業所要単位を満たすように上記の科目以外から8単位以上を履修すること				
		武蔵野BASISの科目や他学部他学科の科目は休講となる場合があるため、注意すること。				
履修モデル計		36	34	34	12	
履修上限単位数(CAP) ※1		40	40	40	40	
卒業所要単位数 ※2		合計124単位以上				

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

会計ガバナンス学科 履修モデル 2020年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

経営学類

(履修モデル 2 -①)

【進路イメージ】

① 上場企業を含む民間企業の経理・財務担当者

【モデル概要】

基礎的な簿記を学ぶことに加え、管理会計・税務会計・国際会計など幅広く会計の知識を身につけ、将来的に経理・財務部門で活躍できる人材を目指す

★必修科目 ☆進級基準科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野BASIS (22)	必修 (18)	建学科目	★ 仏教概説 4			
		情報科目	☆ データ・情報リテラシー 1			
		外国語	★ メディア・人工知能リテラシー 1			
		日本語リテラシー	☆ 英語1A～1D 4			
		日本語リテラシー	☆ 日本語リテラシー 1			
		セルフディベロップメント科目	☆ 基礎セルフディベロップメント 6			
		フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ 1			
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目		発展セルフディベロップメント 4			
学科科目 (72)	必修 (20)	基礎科目群	★ 会計人と倫理 2 ★ 簿記 1 2 ★ 簿記 2 2 ★ 会計学入門 2			
		課題研究		★ プレゼミ 1 2 ★ プレゼミ 2 2	★ ゼミナール 1 2 ★ ゼミナール 2 2	★ ゼミナール 3 2 ★ ゼミナール 4 2
		簿記 3 2 簿記 4 2 工業簿記 1 2 工業簿記 2 2 共生原理 2	経営学入門 2 原価計算 1 2 原価計算 2 2 財務会計 1 2 財務会計 2 2 管理会計 1 2 管理会計 2 2 コーポレート・ガバナンス論 1 2 財務会計 3 2 財務会計 4 2 租税法 1 2 金融論 1 2 金融論 2 2 フィナンシャル・プランニング論 1 2 フィナンシャル・プランニング論 2 2	連結会計 2 管理会計 3 2 管理会計 4 2 コーポレート・ファイナンス論 2 国際財務報告論 2 監査論 2 租税法 2 2 税務会計 1 2 税務会計 2 2 コーポレート・ガバナンス論 2 2 会計データ分析 1 2 会計データ分析 2 2 会計インターンシップ 2 統合報告書論 1 2 統合報告書論 2 2	卒業論文 4	
		自由選択科目(30)	(自身の興味・関心がある科目) 2	(自身の興味・関心がある経営に係る科目) 4	(自身の興味・関心がある科目) 1	
	備考	卒業所要単位を満たすように上記の科目以外から1単位以上を履修すること				
		武蔵野BASISの科目や他学部他学科の科目は休講となる場合があるため、注意すること。				
	履修モデル 計		36	40	38	9
	履修上限単位数(CAP) ※1		40	40	40	40
	卒業所要単位数 ※2		合計124単位以上			

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

会計ガバナンス学科 履修モデル 2020年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

経理学類

(履修モデル 2 -②)

【進路イメージ】

②公務員等の公共団体の経理・財務担当者

【モデル概要】

基礎的な簿記を学ぶことに加え、非営利会計論・公会計論など公共分野で用いられる会計についての知識を身につけ、将来的に公共団体の経理・財務部門で活躍できる人材を目指す

★必修科目 ☆進級基準科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野BASIS (22)	必修 (18)	建学科目	★ 仏教概説 4			
		情報科目	☆ データ・情報リテラシー 1			
		外国語	★ メディア・人工知能リテラシー 1			
		日本語リテラシー	☆ 英語1A～1D 4			
		日本語リテラシー	☆ 日本語リテラシー 1			
		セルフディベロップメント科目	☆ 基礎セルフディベロップメント 6			
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ 1				
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目		発展セルフディベロップメント 4			
学科科目 (72)	必修 (20)	基礎科目群	★ 会計人と倫理 2			
			★ 簿記 1 2			
			★ 簿記 2 2			
			★ 会計学入門 2			
	選択 (52)	課題研究		★ プレゼミ 1 2	★ ゼミナール 1 2	★ ゼミナール 3 2
				★ プレゼミ 2 2	★ ゼミナール 2 2	★ ゼミナール 4 2
		簿記 3 2	経営学入門 2	連結会計 2	卒業論文 4	
		簿記 4 2	原価計算 1 2	企業倫理 2		
		工業簿記 1 2	財務会計 1 2	CSR論 2		
		共生原理 2	財務会計 2 2	コーポレート・ガバナンス論 2 2		
			管理会計 1 2	国際財務報告論 2		
			管理会計 2 2	監査論 2		
			コーポレート・ガバナンス論 1 2	租税法 2 2		
	企業と社会 2	税務会計 1 2				
	租税法 1 2	税務会計 2 2				
	金融論 1 2	コーポレート・ファイナンス論 2				
	金融論 2 2	会計データ分析 1 2				
	フィナンシャル・プランニング論 1 2	会計データ分析 2 2				
	フィナンシャル・プランニング論 2 2	会計インターンシップ 2				
		非営利会計論 1 2				
		非営利会計論 2 2				
		公会計論 1 2				
		公会計論 2 2				
自由選択科目 (30)			(自身の興味・関心がある科目) 2		(自身の興味・関心がある科目) 1	
備考		卒業所要単位数を満たすように上記の科目以外から7単位以上を履修すること				
		武蔵野BASISの科目や他学部他学科の科目は休講となる場合があるため、注意すること。				
履修モデル 計		34	36	38	9	
履修上限単位数(CAP) ※1		40	40	40	40	
卒業所要単位数 ※2		合計124単位以上				

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

会計ガバナンス学科 履修モデル 2020年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

ガバナンス学類
(履修モデル3)

【進路イメージ】

民間企業における事務部門

【モデル概要】

簿記や会計の知識に加え、コーポレート・ガバナンス論や統合報告書論・CSR論といった、現代のコーポレート・ガバナンスに欠かせない知識を身につけ、将来的にCFOや総務部門など企業経営を支える人材を目指す

★必修科目 ☆進級基準科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野BASIS (22)	必修 (18)	建学科目	★ 仏教概説 4			
		情報科目	☆ データ・情報リテラシー 1			
			★ メディア・人工知能リテラシー 1			
		外国語	☆ 英語1A～1D 4			
		日本語リテラシー	☆ 日本語リテラシー 1			
		セルフディベロップメント科目	☆ 基礎セルフディベロップメント 6			
フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ 1					
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目		発展セルフディベロップメント 4			
学科学目 (72)	必修 (20)	基礎科目群	★ 会計人と倫理 2			
			★ 簿記1 2			
			★ 簿記2 2			
	★ 会計学入門 2					
	選択 (52)	課題研究		★ プレゼミ1 2	★ ゼミナール1 2	★ ゼミナール3 2
				★ プレゼミ2 2	★ ゼミナール2 2	★ ゼミナール4 2
		簿記3 2	経営学入門 2	企業倫理 2	卒業論文 4	
		簿記4 2	経済学入門 2	管理会計3 2		
		工業簿記1 2	原価計算1 2	管理会計4 2		
		共生原理 2	財務会計1 2	コーポレート・ファイナンス論 2		
		財務会計2 2	コーポレート・ガバナンス論2 2			
	管理会計1 2	CSR論 2				
	管理会計2 2	統合報告書論1 2				
	コーポレート・ガバナンス論1 2	統合報告書論2 2				
	企業と社会 2	会計データ分析1 2				
	フィナンシャル・プランニング論1 2	会計データ分析2 2				
	フィナンシャル・プランニング論2 2	会計インターンシップ 2				
		非営利会計論1 2				
		非営利会計論2 2				
		公会計論1 2				
		公会計論2 2				
自由選択科目 (30)				(自身の興味・関心がある経営に係る科目) 2	(自身の興味・関心がある科目) 4	
備考		卒業所要単位を満たすように上記の科目以外から12単位以上を履修すること				
		武蔵野BASISの科目や他学部他学科の科目は休講となる場合があるため、注意すること。				
履修モデル 計		34	30	36	12	
履修上限単位数(CAP) ※1		40	40	40	40	
卒業所要単位数 ※2		合計124単位以上				

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

会計ガバナンス学科 履修モデル 2020年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

金融学類

(履修モデル4)

【進路イメージ】

銀行・保険・証券といった金融機関

【モデル概要】

会計の基本的な科目に加え、経済学科と協力し合う金融系の知識を身につけ、将来的に銀行・保険・証券といった金融機関で活躍できる人材を目指す

★必修科目 ☆進級基準科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野BASIS (22)	必修 (18)	建学科目	★ 仏教概説 4			
		情報科目	☆ データ・情報リテラシー 1			
			★ メディア・人工知能リテラシー 1			
		外国語	☆ 英語1A～1D 4			
		日本語リテラシー	☆ 日本語リテラシー 1			
		セルフディベロップメント科目	☆ 基礎セルフディベロップメント 6			
フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ 1					
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目		発展セルフディベロップメント 4			
学科科目 (72)	必修 (20)	基礎科目群	★ 会計人と倫理 2			
			★ 簿記1 2			
			★ 簿記2 2			
			★ 会計学入門 2			
	選択 (52)	課題研究		★ プレゼミ1 2	★ セミナール1 2	★ セミナール3 2
				★ プレゼミ2 2	★ セミナール2 2	★ セミナール4 2
			簿記3 2	経営学入門 2	企業倫理 2	卒業論文 4
			簿記4 2	経済学入門 2	管理会計3 2	
			工業簿記1 2	財務会計1 2	管理会計4 2	
			共生原理 2	財務会計2 2	コーポレート・ファイナンス論 2	
	管理会計1 2	コーポレート・ガバナンス論2 2				
	管理会計2 2	C S R 論 2				
	コーポレート・ガバナンス論1 2	統合報告書論1 2				
	企業と社会 2	統合報告書論2 2				
	フィナンシャル・プランニング論1 2	会計データ分析1 2				
	フィナンシャル・プランニング論2 2	会計データ分析2 2				
	金融論1 2	会計インターンシップ 2				
	金融論2 2					
自由選択科目 (30)				国際金融論1 2	(自身の興味・関心がある科目) 4	
				国際金融論2 2		
				(自身の興味・関心がある科目) 4		
備考		卒業所要単位を満たすように上記の科目以外から12単位以上を履修すること				
		武蔵野BASISの科目や他学部他学科の科目は休講となる場合があるため、注意すること。				
履修モデル計		34	32	34	12	
履修上限単位数(CAP) ※1		40	40	40	40	
卒業所要単位数 ※2		合計124単位以上				

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

1. 留学の認定科目

留学区分	科目名	単位	科目区分	備考
協定留学	協定留学 1	1	学科科目 (選択)	留学先での修得科目の内容が、本学の開講科目の内容に相当する場合は読み替えて単位認定し、それ以外の科目を左記科目として認定します。
	協定留学 2	2		
	協定留学 3	4		
	協定留学 4	6		
	協定留学 5	8		
	協定留学 6	10		
	協定留学 7	10		
認定 (SAP) 留学	認定留学 1	1	学科科目 (選択)	留学先での修得科目を本学で単位認定する際の換算方法は、以下のとおりです。 語学科目 18時間 = 1 単位 学部科目 11.25時間 = 1 単位 ただし、留学先での修得科目の内容によっては単位が認定されない場合があります。
	認定留学 2	2		
	認定留学 3	4		
	認定留学 4	6		
	認定留学 5	8		
	認定留学 6	10		
	認定留学 7	10		
第2学期留学プログラム	短期留学プログラム 1	1	学科科目 (選択)	留学先での単位認定の上限単位数は、以下のとおりです。 通年：40単位 半年：20単位 1学期：10単位
	短期留学プログラム 2	2		
	短期留学プログラム 3	3		
	短期留学プログラム 4	4		
	短期留学プログラム 5	5		
	短期留学プログラム 6	6		
	短期留学プログラム 7	7		
	短期留学プログラム 8	8		
	短期留学プログラム 9	9		
	短期留学プログラム 10	10		
短期語学研修	海外語学研修 1	2	自由選択科目 ※	参加するプログラムに応じて、左記科目として認定します。 研修先での受講を本学で単位認定する際は、18時間を1単位として換算します。
	海外語学研修 2	3		
	海外語学研修 3	4		
	海外語学研修 4	4		
	オンライン語学研修 1	1		
	オンライン語学研修 2	1		
	オンライン語学研修 3	2		
	オンライン語学研修 4	2		
	オンライン語学研修 5	3		
	オンライン語学研修 6	3		
	オンライン語学研修 7	4		
	オンライン語学研修 8	5		

2. 資格試験の合格による認定科目（単位認定対象講座の受講が必要）

区分	科目名	単位	科目区分	備考
資格認定	資格認定 I	2	自由選択科目 ※	対象講座の受講が必要 (詳細はMUSCATでお知らせします)
	資格認定 II	2		
	資格認定 III	2		
	資格認定 IV	1		
	資格認定 V	1		
	資格認定 VI	1		
	資格認定 VII	1		

3. 本学が認めたボランティア活動による認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
ボランティア活動	ボランティア活動 1	1	自由選択科目 ※	ボランティア活動時間を本学で認定する際は、45時間を1単位として換算します。
	ボランティア活動 2	1		
	ボランティア活動 3	2		
	ボランティア活動 4	2		
	ボランティア活動 5	4		

4. 本学が認めたキャリアデザインに関する認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
キャリアデザイン	キャリアデザインA	1	自由選択科目 ※	2021年度以降入学生は認定可能
	キャリアデザインB	1		
	キャリアデザインC	2		
	キャリアデザインD	2		
	キャリアデザインE	2		

5. その他本学が認めた単位認定

※ 自由選択科目の区分がある学科・課程年度が対象です（自由選択科目の区分を設けていない学科・課程年度においては、卒業要件外科目となります）。

【付録：卒業所要単位表・開講表の見方】

※学科・課程年度によって構成が変わるため、各自、自身の学科・課程年度の卒業所要単位表・開講表を確認してください。
 ※武蔵野BASIS、学科科目の必修・選択必修・選択の区分、自由選択科目の区分の有無と対象となる科目の構成は学科・課程年度によって異なります。

●卒業所要単位表

○○学部 △△学科 -20XX年度入学生-

卒業所要単位数

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数	
武蔵野BASIS	必修	単位区分に準じた科目名、あるいは科目群		
	選択必修			
学科科目	必修			
	選択必修			
	選択			
自由選択科目			以下の科目から○○単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS（所要△△単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要××単位を超えて修得した単位） ・ ・	

武蔵野BASISのうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

学科科目のうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は学科選択に含まれます。

学科選択科目に必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

●開講表

自身の学部・学科、コース、課程年度（入学年度）であるか確認してください。

<公開年度>

年度によって科目の休講・廃止等があるため、最新版の開講表を確認してください。

○○学部 XX学科 △△△△△△△△コース -20XX年度入学生-

開講表 [学科科目]

20XX年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
基礎科目群]						
ABCD 101	ZZZ基礎 1	1年		2	◆全員履修	8科目の中から4科目 選択必修
ABCD 102	ゼミナル	1年	1		◆全員履修	
ABCD 103	XX学入門	1年		2		
ABCD 104	□□論 1	1年		1		
ABCD 201	□□論 2	2年		1		
ABCD 106	YYY学	1年		1	◆ZZZ基礎 1 を履修していること	
AABB 106	AAA法	1年		2		
AABB 101	○△□論	1年		2		
AABB 102	□□論 1	1年		2		
GHIJ 104	△△学理論	1年		2		
GHIJ 105	NNN基礎 1	1年		2		
GHIJ 106	PPP論	1年		2		
GHIJ 107	QQQの基礎	1年		2		
GHIJ 108	XXX概論	1年		2		
KLMN 101	SSS概論	1年		2		
基幹科目群]						
PJK 101	XX学理論	1年		2		
PJK 102	YYY学理論	1年		2		
GHIJ 201	NNN基礎 2	2年		2	◆NNN基礎 1 を履修していること	
CDR 101	J学理論	1年		2		

科目の分類を表します。

<開講年次>
履修が可能となる学年。
(上位学年の科目は履修できません。)

<科目番号 (ナンバリング) >

カリキュラムの体系的・段階的な構成を示すため、科目にはレベル、学問分野に基づいた科目番号が付けられている。ナンバリングを参考にすることで、学修の段階・レベルを意識して履修計画を立てることができます。

<単位数>

必修科目の場合「必修」欄に、選択必修科目・選択科目の場合は「選択」欄に単位数が入っています。

<履修条件>

学修効果をもとめるために設定されている条件。履修条件が設定されている場合は、開講表の履修条件欄、あるいはシラバスに記載されています。

<備考>

選択必修や休講科目の情報など、科目の補足情報が記載されています。